ノヤマ通信

vol.10 (2023.弥生)

▲ 森のようちえんヒュッテ

【2月の活動場所:2日山の基地、6日どんぐり王国 (クッキング)、9日山の基地(クッキング)、16 日山の基地(クッキング)、20日宇和運動公園】

●2月は野外調理を多めにやりました。どんぐり王国さんで掘らせてもらったジャガイモを、シチューに入れたりコロッケを作ったりして、おいしくいただきました♥。





●活動を見つめるコラム 「自分で選ぶという経験」

あっという間に3月ですね。森のようちえんヒュッテは年度ごとに年間登録者を募っているため、一応、今月で一区切りです。

ヒュッテの活動では、子どもたちがやりたいことを自分で選ぶという経験を、少しでも多く作れたらいいなと思っています。(例:クッキングのときに調理に加わる?たき火をする?周りで遊ぶ?とか)それは自分で選び、その結果を引き受けていくという繰り返しが、自分の人生を生きるということだと考えているからです。

さて、そもそもヒュッテの活動に参加することを 選択したのは、お子さんではなく保護者の皆さんだ ったと思います。ご自身の選択をふりかえってどう でしたか?

森のようちえんの活動に参加してくれた子どもたちの今後はもちろん楽しみなのですが、森のようちえんに参加するという選択をしたお母さん・お父さんたちが、これからどんな生きかたを選んでいくのかということが、僕にとっては実はものすごく楽しみだったりします ② 。(ゆ)



▲2/9 森のようちえん@山の基地



【2月に行った活動:12日開放日、23日イベント DAY(カレーとナンづくり)】

●2月はたくさんの人たちが遊びに来てくれました。 12日の開放日は、子どもったりに来てくれたおと一緒に鬼ごんがたちとったがちはないたりさんたりられたりらかが持っていたがらないしいと盛りないました。







●12月から始めたキウイの 剪定作業を2月中旬で終え ました。結局全体には手が 回りませんでしたが、3段 目くらいまでは完了しまし た。あとは切った枝の整理 です。



●基地の一角に、ブルーベ リーの苗木を植えました。 これからも少しずつ育てる ものを増やしていきたいと 思っています。



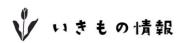
☆☆ その他の活動

●ジオパークのフリマガ「だいちのめ」の編集

次号(第4号)の制作に向けて、取材を経て記事の 執筆や校正作業を進めていました。夫婦でダメ出し をし合いながら文章を練り上げ、それが頼れるデザ イナーさんの魔法によって冊子という形になってい くプロセスは、いつもながらエキサイティングで す。3月中には入稿をすませ、4月から市内で配布さ れる予定です!

●調査報告書の取りまとめ

今年度に関わった調査結果をまとめる作業を進めて います。こうした事務作業をするのは毎年度末の恒 例なのですが、天気が良い日はやっぱり外に出かけ たくなります…。



活動の中で出会った生きものたちを紹介します。



フキノトウ(フキ)

山菜として有名なフキノ トウは、フキの花芽のこ とです。「おべんとうば このうた」で「筋の通っ たフ~キ♪」と歌われる あれです。

る よもやま話

●vol.8で紹介した本、「ジェンダーステレオタイプ と子育て」を訳されたさわぐりさんがpodcastを運 営されていて、「保育とジェンダー」というエピソ ードを聞きました。ゲストの巽(たつみ)さんは、 スウェーデンの野外プレスクールで保育士として働 きながら、自然環境教育とこどもの権利を学び、実 践されています。

人権とは、誰もが平等に自由に自分らしく生きる 権利とも言えますが、生活の中で、どうやって人権 的な理解を育てていったらいいのでしょうか...?

例えば「差別してはいけない」など、ネガティブ な言葉を使うのではなく、みんなの好きなものが違 うように、人はそれぞれみんな違うんだよとポジテ ィブに伝えるようにする(どちらかというと義務よ りも権利を伝える)。園には子どもの権利条約とい う絵本の棚があって、そこには社会の規範を壊すよ うな絵本(例えば男の子だけが海賊になるのではな く、女の子や様々な種類の方が海賊になる)が並ん でいる。子どもたちが権利条約の棚から絵本を選ん で持ってきた時に、その本を読むことで、子どもた ちの興味関心から自然に人権について学んでいくこ とができるといったお話が印象的でした。

どうしてそのような教育が可能なのか、国として の背景や幼稚園教育要領にも触れたお話も あるので、興味ある方はぜひ~、約1時間 くらいのお話です (*)。(ち)

●我が家では、ひな祭りの直前に三人官女のうちの 一人がいなくなるという事件が発生しました。犯人 は3歳の三女です。文字にすると、三人官女に3歳

の三女と「3」が並んでなんだかお もしろいですが、実際は「見つかる まで探すよ」という出口の見えない タフな仕事。事件当日は見つからず もやもやを抱えたまま一夜を明かし、 翌日はひな祭りの前日(3/2)。

ここで決着をつけないと、という必 死の捜索の末に見つけました!発見 場所は、子どもの長靴の中です。以 前にもそんなことがあったなぁ、と 思って手に取って正解でした。みな さんも探し物の際は、長靴の中、ぜ ひチェックしてみてください。 (ゆ)







<発行> 一般社団法人 ノヤマカンパニー



愛媛県西予市宇和町稲生237-1 noyama.company@gmail.com